

新スポーツセンター基本計画検討会(第4回)

議事要旨

【開催概要】

日時:令和8年1月26日(月)午後2時00分～午後4時40分

場所:千代田区役所本庁舎4階401会議室

委員長: 早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授 木村 和彦 (欠席)

委員長代理: 千代田区スポーツ協会 菅野 豊

委員: 千代田区スポーツ推進委員 植田 浩敏 (欠席)

千代田区健康づくり推進員 荘 絵里子

千代田区障害者共助会 鈴木 やす代 (欠席)

区立スポーツセンター避難所運営協議会 田熊 清徳

千代田区青少年委員 中村 あけみ

オブザーバー: ミズノ株式会社(指定管理者) 1名

事務局: 地域振興部生涯学習・スポーツ課 5名

【次第】

1 開会

2 議題

(1)スケジュール

(2)ワークショップの報告について

(3)アンケートの報告について

(4)現施設の機能と規模

(5)新たな機能

(6)フロア配置・平面ゾーニング

(7)基本計画について

(8)代替施設について

(9)その他

3 事務連絡

今後の予定

4 閉会

【資料】

資料 第4回新スポーツセンター基本計画検討会資料

【議事要旨】

1 開会

委員長が欠席のため、「新スポーツセンター基本計画検討会設置要綱」第5条第4項の規定により菅野委員が委員長代理として議事進行を行う。

傍聴の申込みが1名であることを確認。

2 議題

(1) スケジュール

●事務局 スケジュールについて資料に基づき説明。

(2) ワークショップの報告について

(3) アンケートの報告について

●事務局 ワークショップの報告、アンケートの報告について資料に基づき説明。

◎委員長代理 この件について、質問・意見があればご発言いただきたい。

○A委員 ワークショップについて、これまで参加してきたものにはなかった形式で、学ぶ点が多く、ほかの参加者からも多くの意見が出されて大変有意義なものであった。アンケートについては、いくつか確認したい点がある。アンケートではプールの広さについて、「満足」と回答があったということだが、プールの周囲のスペースが狭い旨、別途話を受けている。また、25メートルプールでは、タッチ板の厚さの分、プールの長さが足りておらず、公式なタイムが測定できず、大会が開催できないという課題があったが、現状も同様か確認したい。

オブザーバー 例えば、マスターズなどの正式な大会は、現状のプールでは開催が難しい状況である。

○A委員 是非新しいスポーツセンターでは、正式な大会を開催できるプールの長さや、プールサイドの広さを確保していただきたいと考えている。私の下に寄せられた意見はこの場でお伝えするようにしているが、満額回答とはいかないことも繰り返し説明している。アンケートでも、弓道、アーチェリーなど、単独の専用施設を求める意見が出ているが、新スポーツセンターにおいても、単独整備は難しいのではないかという状況は伝えている。互いに協力し合って施設を利用していこうと伝えているところである。その上で、区民に親しまれ、気軽に足を運んでもらえるような、スポーツだけでなく交流の場としての魅力を備えた新しい施設をぜひ整備していただきたいと考えている。

●事務局 プールについては、今ご指摘いただいたとおり、プールサイドが狭いというご意見を前回検討会でも頂いていたため、「現施設の機能と規模」の章において、プールサイドの幅を広く確保することや国内大会基準を満たすことといった整備の方向性を示しているところである。区民に親しまれ、魅力ある施設に整備していくことが重要である。

○B委員 シャワー室の数やフロア配置について現状を確認したい。

オブザーバー 現状は、2階と3階にそれぞれ男女別で更衣室とシャワー室がある。

- B委員 アンケート結果でシャワー室の拡充の要望があるわけではないが、施設全体が拡大し利用者が増えることを想定すると、シャワー室の拡充を基本に検討すべきであると考えている。
- 事務局 シャワーやトイレ等を含めた設備機器は利用者数の想定を踏まえて台数を検討していく。
- B委員 サウナについては、開かれた大きなサウナを設けるとなるとスパ施設のような仕様となり、実現性が低いと考えられる上、民業圧迫を避ける観点からも慎重な対応が必要である。一方で、中途半端な小規模サウナを設置しても、不満が上がる可能性がある。
- A委員 現状について、トイレが不足していると感じている。特に男性用の個室が2つのみしかない状況である。また、洋式と和式については、現在は洋式が主流であるが、区施設で和式を希望する方もいるのか。
- 事務局 一定の需要はあるものの、和式を積極的に整備するのは限定的になりつつある。近年は施設からの要望で、和式を洋式に置き換える事例も増えてきている。
- A委員 洋式で整備していただきたいと考えている。また、温水洗浄機能を備えてほしい。
- B委員 避難所としての利用を想定すると、屋内で緊急対応できるトイレの設置が可能か検討していただきたい。屋外に設置するマンホールトイレは、夜間は利用しづらく、安全面の課題がある。
- 事務局 今回の計画では、2階の柔道場・剣道場が避難所として機能することから、その付近のトイレについて、災害時のトイレ利用を考慮して検討する方針とする。
- C委員 主競技場に関するアンケートで、「空調能力が足りないため、けが等への懸念がある。」という意見がありますが、空調能力の不足がけがにつながるというのはどのような意味か。
- 事務局 十分に暖まっていない状態で運動をして、けがをしてしまうという趣旨と思われる。
- C委員 アンケートの意見にある「団体利用」や「個人開放」とは別物として要望されている「個人ベースの利用」とは、どのような意見なのか。
- オブザーバー 現状には「団体利用」と「個人開放」があり、個人開放は登録不要でチケット購入により誰でも参加できる開放枠である。一方、団体利用は団体が時間を決めて申し込む方式である。今回のご意見は、平日の午前など団体利用枠のうち予約が入らなかった枠について、個人開放に切り替えることで利用率を上げられるのではないかとこの意見ではないか。
- 事務局 現行の個人開放は指導者付きであるため、今回のご意見は指導者なしの開放を求めているものとも考えられる。
- オブザーバー 一定の級を持つ利用者のみ参加を認めるなどのルールを設けて、安全面に配慮するといった対応も必要であり、なかなか踏み出しにくい点もあるが、今後検討してほしいという趣旨のご意見と捉えられる。
- A委員 先日、大会を実施した際は、休み明けで館内が非常に寒く、空調は改善が必要であると感じている。さらに、ワイヤレスマイク使用時にハウリングや混線が生じ、音

が聞き取りづらい状況がある。音響設備や照明の改善も必要である。

- 事務局 空調については、現行の空調方式では暖まるまで時間を要するため、新施設では空調方式を含めて検討したい。また、音響についても、課題として受け止め、新たな施設では改善策を検討していく。

(4)現施設の機能と規模

- 事務局 現施設の機能と規模のうち、スポーツ施設について資料に基づき説明。
- 事務局 委員長への事前説明の際にご意見を頂いたため、紹介する。「競技場」は屋外のスタジアムを連想させる名称として使われることが多いため、「主競技場」という名称は、「サブアリーナ」の導入に合わせて「メインアリーナ」としてはどうかというご意見である。
また、検討会資料には整備後のおよその面積の数値を記載しているが、数値についてはあくまでも参考値であり、今後の設計段階でも増減するものである。一方で、検討会で決めた整備方針については、則って計画を進めていく。
- ◎委員長代理 「(4)現施設の機能と規模」のうち、スポーツ施設について説明があったが、いかがか。
- A委員 リハビリをできる空間を設ける場合、医務室ではなくトレーニングルームに設けることになるか。また、ベッドを設置できるのかについても伺いたい。筋力強化だけでなく、リハビリを通じて身体機能を回復させることは必要なことであると考えている。
- 事務局 リハビリを目的とした利用は、トレーニングルームで整備するのが妥当だと考えているが、具体的にどのようなリハビリ機器を導入するのが適切かについては、今後、ご意見を伺いながら検討を進めたいと考えている。
- B委員 主競技場用の器具庫について、主競技場に面していると使いやすい一方で、競技中に器具が出し入れできなくなるため、主競技場に面しない器具庫も必要という意見があったと記憶しているが、対応できているか。
- 事務局 主競技場フロアには、主競技場に面した器具庫以外にも倉庫を計画しており、活用できる可能性がある。ご意見を踏まえ検討する。
- A委員 コートが複数面あると、1面を団体利用しつつ、1面を個人開放とするといった運用も想定されるため、どこの器具庫に何を配置するかは今後検討が必要であると考えている。
また、主競技場の観覧席については、現時点では四方に配置することで検討しているのか確認したい。また、その際は四方から視認できる電光掲示板の設置についても、検討していただきたい。
- 事務局 主競技場の整備方針の中で観覧席についても言及しているが、現状よりも観覧席を拡充し、口の字型で整備できるか検討する方針としている。電光掲示板の設置についてのご意見も、今後、検討していく。
- 事務局 生涯学習施設について資料に基づき説明。
- 事務局 委員長への事前説明の際に、災害時の料理教室の利用について検討したほうがよいのではないかとご意見を頂いたので、災害時の炊き出しなどで使えるかどうかにか

ついて、今後検討していきたい。

- ◎委員長代理 生涯学習施設について説明があったが、いかがか。
- B委員 音楽室は同規模で整備する方針とされているが、コーラスの利用を想定すると、定員 30 人は狭いため、拡大を検討してはどうか。それとも、現状は音漏れが発生してしまっている定員 50 人程度の第1多目的ルームを防音にする予定か。
- D委員 音楽室を実際に利用したことがあるが、狭いと感じたため、同意見である。
- 事務局 現状は、音楽・映写室は防音だが狭く、一方で、第1多目的ルーム・第2多目的ルームのうち、第1多目的ルームは広いが防音がないという状況である。そういった現状を踏まえ、この4つの部屋についていずれも防音機能を設けることを検討するという整備方針をご提案している。大人数で活動する団体は第1多目的ルームを使用し、それ以外の団体は他の3つの部屋から選ぶという想定である。
- D委員 確かに広い第1多目的ルームを防音にすれば、先ほどの問題は解消されると思う。映写室は音楽室と同じような利用のされ方のようなのだが、音楽室と映写室を統合するというのはどうか。
- オブザーバー 名称が違うだけで使い勝手は一緒である。
- 事務局 映写室の利用実態を踏まえ、第2音楽室として整備することを検討する方針としている。一方で、音楽室と映写室を統合した場合、広い部屋となるものの、音楽活動ができる部屋の数が減ってしまい、予約が取りにくくなることが懸念される。
- ◎委員長代理 規模が小さくても、部屋の数があったほうがよいのか、現在の利用実態を伺いたい。
- オブザーバー 2～5名くらいの少人数での利用が多い。部屋数は減らさないほうがよいと考える。防音設備のある広い部屋ができたり、数が増えたりすれば、運用しやすくなると考えられる。
- C委員 可動式間仕切りにして分割利用ができるようにしつつ、防音にすることはできないか。
- 事務局 楽器演奏を踏まえると、二重の間仕切りによる防音を検討することになるが、デッドスペースが発生したり、利用者が自由に動かせないような重さになって使いづらくなったりするなどの懸念がある。
- ◎委員長代理 頂いた意見を踏まえて、事務局で整理していただきたい。
- (5)新たな機能について
- 事務局 新たな機能について、資料に基づき説明。
- ◎委員長代理 「(5)新たな機能」の議題について説明があったが、いかがか。
- B委員 メモリアル機能について、スポーツ文化・歴史の発信をする必要がある。また、鎌倉河岸は千代田区の貴重な歴史資源である。鎌倉河岸の歴史、そして神竜小学校につながる歴史を紐解き、ストーリーを描いて見せるなどできるとよい。ランニングやウォーキングと絡ませ、歴史の街歩きができる拠点としてほしい。
- A委員 同意である。やはり区民の方にも喜んでもらいたい。
- A委員 現在、施設内に飲み物の自動販売機はあるが、軽食も購入できるよう、コンビニの

導入を検討いただきたい。加えて、大会費の支払の関係で ATM の導入を望む声もある。

- B委員 コンパクトな無人のコンビニではどうか。
- A委員 大会時のアルコールの提供や、スポーツ施設を利用しない人も利用できる健康を考慮した食事の提供などがあるとよい。
- B委員 観戦ができるスポーツバーもよいかもしれない。
- 事務局 これまでの検討会のご意見を振り返ると、日常雑貨などまで全てそろっているコンビニである必要はないが、軽食の提供という観点で、カフェのような空間とするのか、軽食系の自動販売機を設置するののかといったご意見があったと認識している。また、アルコール提供やスポーツバーといったアイデアも本日頂いた。いずれにしても、交流が生まれる空間として整備することが重要である。
- ◎委員長代理 頂いた意見を踏まえて、事務局で整理していただきたい。
- (6)フロア配置、平面ゾーニングについて
 - 事務局 フロア配置、平面ゾーニングについて資料に基づき説明。
 - 事務局 委員長への事前説明の際に、主競技場のフロアの更衣室について、必ずしも主競技場に接していなくてもよいのではないかとご意見を頂いた。また、主競技場の近くにも医務室のような対応ができる機能があるとより良いのではないかとご意見を頂いた。
- ◎委員長代理 「(6)フロア配置、平面ゾーニング」の議題について説明があったが、いかがか。
- B委員 以前のプランより交流空間の位置が良くなったように思う。施設周辺からの川沿いへのアクセスについて、また、テラスに椅子を置けるスペースがあるのかについて確認したい。
- 事務局 川沿いには、施設内と東西の施設の脇からアクセスできる予定である。テラスについては、今後の測量次第だが、歩行者エリアを確保した上で検討していくことになる。
- B委員 反対側や観光船から見て目を引く、行きたいと思えるおしゃれなテラスにしてほしい。鎌倉河岸では木材が流通していたこともあり、木材や緑などを使用し、無機質にならないデザインとしてほしい。
- A委員 無機質で味気ないものにならないよう素敵なものを作っていたいただきたい。
- B委員 川端緑道は旧福井藩邸跡であるため、千代田区と福井県の連携を生かし、川端緑道に恐竜のオブジェなどを置いて対岸のスポーツセンター側から見えるようにすれば、川端緑道との連携も生まれるのではないか。
- 事務局 川沿いへのアクセスや川沿いの歩行者エリアの確保、川に顔を向けた施設整備などを計画し、今後の首都高速道路の地下化も見据えて、川を意識した整備を進めたい。
- A委員 駐車場を 2 層で計画しているようだが、スポーツセンター以外の施設の車両も使用するのか。
- 事務局 使用する予定である。地上の東側空地に駐車スペースを設けるのは無機質な空間

となってしまうため、地下駐車場で検討している。

- A委員
オブザーバー
現施設の駐車場は満車になることはあるのか。
大会時や特別な場合を除き、駐車場が満車になることはない。ゴルフなどで荷物の多い方が駐車場を利用しているが、交通の便が良いため、電車を利用する方が圧倒的に多い。
- A委員
○B委員
●事務局
狭く危険に感じることはないよう、ゆとりのある駐車場計画としてほしい。
ネーミングライツは検討していないか。
他区の体育館でネーミングライツを導入している事例がある。公共施設は名前が変わると区民の方が混乱することもあるので、関係部署と相談の上、メリットデメリットを比較しながら慎重に検討したい。
- オブザーバー
新スポーツセンターの主競技場での大会時には、現状よりも多くの方が出入りすること、上の階に配置されることから、エレベーターは、現状の2基では足りないが、3基あれば問題ないと思う。
- B委員
○A委員
●事務局
現状はやや狭いので、大きめのものだとよい。
屋上については、まだ決まっていないという認識でよいか。
基本設計の段階にならないと機械設備が決まらないため、屋上の用途については現時点では決まっていない。
- B委員
●事務局
敷地対面の「ちよくる」サイクルポート(4台)に駐輪した利用者が、スポーツセンターへ向かう際に道路を乱横断しており、危険な状況である。スポーツセンター利用者には需要が高いため、付近に新たなポートを数台整備する予定はないか。
場所については改めて検討する必要があるが、基本計画案の駐車場整備計画において、コミュニティサイクルポートについても検討対象としている。
- ◎委員長代理
頂いた意見を踏まえて、事務局で整理していただきたい。

(7)基本計画について

- 事務局
基本計画について、資料に基づき説明。
- ◎委員長代理
「(7)基本計画」の議題について説明があったが、いかがか。
- B委員
地域福祉交通「風ぐるま」の停留所があるが、簡素であるため、新しくベンチなどを設置し乗りたくなるような空間に整えてもらえると良い。高齢者のスポーツを通じたフレイル対策の観点からも、「風ぐるま」について検討して欲しい。
- A委員
●事務局
「風ぐるま」の運行についても、多方面からアクセスできるルートがほしい。
ご意見を受け止め、所管部署とも共有したい。
- ◎委員長代理
頂いた意見を踏まえて、事務局で整理していただきたい。

(8)代替施設について

- 事務局
代替施設について、資料に基づき説明。
- ◎委員長代理
「(8)代替施設」の議題について説明があったが、いかがか。
- A委員
当団体は、これまで大会を主競技場で実施してきた。解体から新しいスポーツセンターの完成までの間は他の施設を借りる必要がある。この点については、前もって幹部に伝え、他の施設に関する情報収集も進めている。

しかし、隣接区である中央区や港区の行事予定を確認すると、ほとんど空きがない状況である。そうした中で、千代田区の大会を入れてほしい旨の願いをすることは、現実的に難しいのが実情である。年間を通じて、せいぜい一大会を共催という形でお願ひするのが精一杯である。また、現に港区とバレーボール大会を共催しているものの、希望どおりの運営ができていない状況でもある。

千代田区内で開放されている中学校の体育館もあるが、多くは1面のみであり、大会運営が可能な環境ではない。参加チームが10～20チームとなれば、待ち時間が非常に長くなり、大会として成立しなくなるおそれがある。新スポーツセンターの整備期間中に、加盟団体が他区で活動すると、そのまま戻ってこないチームが発生しかねない。都民大会などにおいても、主たる競技場・練習場で登録する必要があるため、隣接区の代表として出場することも考えられる。都民大会で優勝するような優秀なチームの流出は、ぜひとも避けたいところである。

こうした状況から、やはり代替施設をどこかに設けていただきたい。場所が限られており厳しいことは十分承知しているが、ぜひご検討いただきたい。

●事務局 大会を実施できるようにすることが、最も重要なポイントであると理解した。大会を開催するためには、バスケットボールコート2面を確保できる規模以上が必要であり、その場合は約1,200㎡程度の広さが求められる。この面積を確保できる区の施設は限られてくると思われるが、整備が可能なのか検討していきたいと考えている。

また、新施設の整備期間中はご不便をおかけする場面もあると思われるが、皆様のご協力をいただきながら、区民や団体の活動が継続できる方策を一緒に考えていきたい。

○B委員 避難所の代替施設も検討いただきたい。

●事務局 所管課に確認中であるため、具体的に決定した場合には、改めてご案内する予定である。

(9)その他

◎委員長代理 本日の意見を踏まえ、事務局は基本計画の策定に向けて業務を進めることとする。

3 事務連絡

●事務局 本日提示した基本計画の案に更に修正作業を進める。基本計画の素案を作成し、パブリックコメントにかけて、庁内の手続きを経て、最終決定したものを第5回検討会にて報告予定である。

なお、第5回検討会は3月頃の開催を予定している。

4 閉会

以上